

Future

G4 Special Concert ~愛唱歌の完成とこれから~

3月1日（水）の昼休みの時間に、G4 Special Concertを行いました。昨年度、第4クオーターのプロジェクトから始まった愛唱歌プロジェクトが、ついに完遂しました。

昨年度のプロジェクトでは、児童、保護者の方々、職員にアンケートを実施し、その結果をもとにして歌詞を考え、歌詞に合うようなメロディーを作りました。その時にできたのが、愛唱歌のショートバージョンでした。ショートバージョンだけでも、素晴らしい曲ではあったのですが、子どもたちのメロディーを繋ぎ合わせて、ピアノ伴奏を作ってくださった作曲家の中野健一さんが、全員のメロディーが入るようにと作ってくださったのがロングバージョンでした。こちらには、2番の歌詞と短めの3番が入れられるようになっていました。2、3番の歌詞は後輩に託すこともできました。しかし、4年生で作りたい！という意見が多く、愛唱歌は1期生で完成させることになりました。

子どもたちのメロディー、中野さんのハーモニーに、今回はどのようなプロセスで歌詞をつけてもらおうか、試行錯誤の連続でした。子どもたちとの話し合いの中で、メロディーに合うような歌詞にするため、1番の中の歌詞を2、3番でも踏襲することとしました。そして、そこからはひたすらキーワードとなるような言葉を出していき、文にしては議論して、多数決を取る。それを少しずつ行なっていました。

音楽科の授業で行うからこそ、私は「自分と向き合って」言葉を紡ぐことを大切にしてもらいたいと考えました。SOLANはどのような場所で、自分は何のためにここに来たのか、どのように成長していきたいのか。自由ってなんだろう。自分はどんな未来を思い描いているだろう。そんな言葉が子どもたちから出てきたことに、驚きと感動を強く感じました。

歌詞を作っている最中は、アイデアがなかなか出なかったり、意見が真っ二つに割れたり、スムーズとはとても言えませんが、それでも毎週少しずつ歌詞ができていき、いよいよ本番当日。ラーニングコモンズで響いたShining Futureは、爽やかに生き生きとした素晴らしいものでした。

愛唱歌は、完成しました。でも、これで終わりではありません。子どもたちの輝かしい未来と共に、この歌が長く愛され、歌い継がれるものになることを心から願っています。（谷口未怜）